

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 3月 15日

事業所名：発達療育 レンテ市川

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	
	2	職員の配置数は適切であるか	3	5	・事務職員が2つの事業所を掛け持ちしていると事務職員がいない日が多くなるので困る。 ・配置人数は適切だが、急遽職員の休みが出た際や業務の分担が大変に感じることがある。 ・非常勤の職員を増やす等、常勤が必要な事務時間が取れるようになるとういのではと思う。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	・階段があり、バリアフリーではない。 ・子どもがぶつかりそうな場所は、緩衝材を充てるなどの対策を考えている。 ・バリアフリー化はされていないが、例えばベビーカーを入り口の段差上に上げたり、また下げたりするときに大変な際はサポートしている(必要に応じたサポート)。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	・角のガードが取れやすい、建物の構造的にも危険な箇所が多い。室内の棚の角もガードされていない。 ・清掃などできる限りの対応はしている。毎年のように大掛かりな補修もしているが、水回りなど気になる箇所は残っている。 ・昨年の工事で改善してきたがトイレの異臭が気になる。換気扇・エアコンの定期清掃を業者に依頼したい。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	8	0	定期的な事業所と全体のミーティングが開催されている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	いただいた意見を共有し改善に努めている。 無回答1
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	0	無回答1
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	2	外部評価を受けているかは分からない。(無回答4)
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	1	・社内研修は適宜行われている。 ・外部から講師に来ていただいて研修も行ったが、参加できる人数は限られており、十分な機会とは言えない。 ・県の研修が急に決まったりするので、研修時間の確保が大変。こういうときに人員の余裕があればと思う。 ・無回答1
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	7	1	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	0	社内で共通したアセスメントツールを使用している。 無回答1
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	0	無回答1
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	個別支援計画の更新月の前に、今までの経過と次の目標についてMTGL意見を出し合っている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	0	無回答1
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	・毎朝終礼を行っている。グループ活動やSV時には事前に打ち合わせを行う。 ・朝礼、終礼のほか、共有アプリを活用し適宜コミュニケーションを取れている。 ・グループ実施時は打ち合わせを行うが、個別のセッションの前には特に打ち合わせしていない。留意すること等あれば、個別の連絡ノートや情報共有アプリにて適宜引継ぎを行っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	・毎日終礼を行っている。連絡事項やヒヤリハットも共有している。 ・朝礼、終礼のほか、共有アプリを活用し適宜コミュニケーションを取れている。 ・ヒヤリハットや共有事項などあれば終礼時に確認している。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	記録をつけており、セッション前には確認している。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	0	・定期的(月1回程度)にSV(スーパービジョン)がある。 ・モニタリング期間には担当間で計画的にミーティングを行い支援内容や進捗について共有している。 ・無回答1	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	0	・ケースミーティングでは、SV(スーパーバイザー)と担当セラピストが参加している。 ・無回答1
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	・連携の有無が不明。 ・無回答1
	23 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・保育所等訪問支援を積極的に行っている。 ・無回答1
	24 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	0	・スマイルプランの作成 ・保育所等訪問支援の活用 ・無回答1
	25 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	6	1	・必要があれば利用者の情報共有を行っている ・無回答1
	26 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	4	・積極的に参加しているかは分からない。 ・機会があれば参加していると思うが、参加者からの情報共有がほしい。 ・無回答1
	27 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	
	28 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0	ペアレントトレーニングプログラムの他、オンデマンド講座や毎月のSV(スーパービジョン)時の面談で支援を継続して行っている
保護者への説明責任等	29 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	
	30 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	0	・無回答1
	31 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	職員全員で適宜情報共有を行い、対応などについて話し合う。
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	6	・保護者の会を開催はしていないが、保護者ペースを開放し、適宜コミュニケーションを取ることができる場を設けている。 ・Webセミナーを全社で開催しているが、参加者が少ないと聞いているので、広報など協力していきたい。Webセミナーの開催がいつも平日なので、土日祝も検討してほしい。 ・無回答1
	33 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	1	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	4	・連絡事項や行事、避難訓練が実施される時には、お便りの配布や掲示をして発信している。 ・無回答1
	35 個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	
非常時等の対応	37 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	
	38 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	
	39 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	・無回答1
	40 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	・事業所内での共有、社内で他事業所との共有や検討を行っている ・お子さんの権利保護、自主性を尊重し身体的なガイドを減らす取り組みを行っている ・ヒヤリハットがあれば毎日終礼にて共有し、対策についても考える。
	41 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	・事業所内での共有、社内で他事業所との共有や検討を行っている ・お子さんの権利保護、自主性を尊重し身体的なガイドを減らす取り組みを行っている
42 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	7	0	・無回答1	

保護者等向け

児童発達支援評価表

公表：令和 5年 3月 15日

事業所名： 発達療育 レンテ市川

保護者等数（児童数）20(22)

回収数16

割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない		いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16					
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	15				1	表示や説明がない
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	1			1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	16					子供のことをよくみて分析してくれてると思います。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	13	1			2	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	16					
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	14	2				
保 護 者 へ の 説 明 等	9 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	14				2	
	10 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	15				1	
	11 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	15				1	Webセミナーがリアルタイムでは参加できないけど、後から見られるのでとても助かっています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見
保護者への説明等	12	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態、課題について共通理解ができているか	15			1	
	13	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	15			1	・(面談時間が1回)30分程度だと思うが、45分以上にしてほしい。 ・月1でSV(スーパーセッション・面談)があり良い
	14	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	3	8	・保護者会 開いてほしいです
	15	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	13	1		2	
	16	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1		1	
	17	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	9	2		5	・わかるように案内があればもっと良いのですが・・・
	18	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	14			2	
非常時等の対応	19	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15			1	防犯については不明
	20	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15			1	
満足度	21	子どもは通所を楽しみにしているか	15			1	
	22	事業所の支援に満足しているか	14	1		1	

*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

*2 「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。